

基本情報

施設名	むつみ愛児園
所在地	横浜市西区南軽井沢 56
電話番号	045-311-4940
評価年度	平成 29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 29 年 10 月 10 日～ 平成 29 年 11 月 13 日	職員間で話し合い記入。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 30 年 1 月 25 日 平成 30 年 1 月 26 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認および園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行いました。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 29 年 11 月 8 日～ 平成 29 年 11 月 24 日	アンケート用紙を配付し、回収ボックスに投函。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 30 年 1 月 25 日 平成 30 年 1 月 26 日	2 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめました。

第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	むつみ愛児園
経営主体(法人等)	個人
対象サービス	保育所
事業所住所等	横浜市西区南軽井沢 56
設立年月日	昭和 25 年 11 月 1 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

《総合評価》	
【むつみ愛児園の立地・概要】	
<p>●むつみ愛児園は、JR横浜駅から徒歩13分、西区北部の神奈川区境付近に位置し、東に沢渡と台町、西に宮ヶ谷、南に楠木町、そして北の北軽井沢と接し、北軽井沢に続く丘陵とその斜面・低地からなり、斜面の山林を除き住宅地が多く、むつみ愛児園は丘陵途中に位置しています。園舎は、古き良き日を懐かしむような安心感を醸す木造平屋建てで、四季折々の豊かな木々が園舎を囲み、広い園庭には大きな立派な桜の木があり、春には園舎をピンク色に染める景色が見られます。また、保育室入口には歴代のシマリスが子どもたちを迎えています。</p>	
<p>●むつみ愛児園は、昭和25年11月1日に開設され、68年目を迎えた由緒ある保育園です。2歳～5歳児の保育を実施し、園舎は園庭に面してL字型に立ち、入口扉から正面にトイレを挟んで左右に左4歳児保育室と右に2歳、3歳児保育室を設け、園庭の右側は5歳児の保育室と奥に厨房と職員室そして、事務室があり、外から各保育室に入室できるようになっており、保護者ともコミュニケーションが取りやすい配置になっています。植栽で囲まれた園庭には、ジャングルジム、鉄棒、すべり台、つるつる山、砂場を設置し、子どもたちがのびのびと十分に遊べる広さを有しています。むつみ愛児園は、地域に根差した開かれた保育園を目指し、園庭開放・育児講座・交流保育等を実施し、地域の子育てを支援し、子どもたちと地域とのかかわりを豊かなものにしていきます。</p>	
【むつみ愛児園の方針】	
<p>●むつみ愛児園の理念は、子どもの健やかな成長を見守り、知性、情緒、行動、衛生などあらゆる面から子どもの発達を支援し、保護者からも信頼される保育園を目指します」とし、保育方針は、「こころもからだもじょうぶなこ、一人一人の個性を尊重し、自主性を育み、遊びを通して協調性・忍耐力を培い、心身の健康と自立を育む保育」を掲げ、保育目標に、1. 「心身ともに豊かな子ども」、2. 「思いやりのある子ども」、3. 「意欲を持つ子ども」、4. 「自分で考え行動のできる子ども」に置き、一人一人の子どもが様々な体験を通して、周囲の人々に愛され、</p>	

生まれ、未来を担う子どもたちが、心豊かに自分を大切に、思いやりの心で皆を大切にできるよう、命を大切に共に育ち合えるよう、「人間形成の基礎づくりの支援」に尽力しています。

《優れている点》

1. 【「向き合う保育」の推進】

●むつみ愛児園は、理念を基に、子どものあるべき姿を示した保育目標に沿い、年間指導計画、月間個別指導計画、週案、日案へと落とし込み、子どもの「今」を見つめつつ、人間形成の基礎作りへの支援の在り方を、職員会議等で話し合いを重ね、全職員で共通認識を図り、園生活をいかに大切に過ごせるか「子ども」と「今」を熟考し、意識統一の下、保育にあたっています。

2. 【子どもたちが遊び込める環境作り】

●むつみ愛児園の子どもたちは、保育室内の玩具収納棚や、園庭にある収納庫から自分の好みの玩具を自由に取り出して主体的にのびのびと遊んでいます。保育室内では、友達とブロックで様々な自動車、ロケットを創造豊かに組み立てたり、お店屋さんごっこなど、様々な場面を想定しながら子ども同士でルールを設け、互いを思いやりながら遊びを楽しんでいます。職員は、子どもが好む環境作りを子ども本位に配慮し、子どもが集中して遊び込める場所作りを提供しています。

3. 【子どもの自立に向けた援助】

●むつみ愛児園の特徴の一つの園庭では、子どもたちは、スコップ、コップ、小さなバケツで砂のお菓子等を作ってケーキ屋さんごっこの砂遊びや、ボール蹴り、発泡スチロールの手作りの新幹線で遊び、なわとび等、思い思いの遊具を持ち出し、創造力豊かに遊んでいます。また、滑り台やジャングルジム、鉄棒、つるつる山への山登り、かけっこ等、子どもらしく活発に遊ぶ中、保育士も遊びに入りながら絶え間なく子ども一人一人に目配りをしながら見守り、全ての子どもが交わりながら楽しんでいます。また、5歳児の保育室前にシマリスを飼育し、ヒマワリの種や、細く刻んだ新聞紙等を渡すと両手で受け取り、口いっぱい詰めた両ほほがプクプリと膨らむ姿に、2歳児が副園長に幾度もひまわりの種や新聞紙をねだり、飼育を通して慈しみや愛情を教えています。園庭で遊びを終えた子どもたちは、使っていた遊び道具を収納かごに戻し、「使ったものはキッチンと片づける」、「片付けのできる人」としてのマナーが自然と身に付くよう、自立に向けた保育が遊びを通して育まれています。

4. 【職員の質向上への取り組み】

●むつみ愛児園では、職員の質向上への取り組み、人材育成にあたり、職員個々の目標管理を実施しています。職員は、自身の必要課題は何であるかを日々の職務遂行を振り返り、検討し、指導計画表の欄に記入して園長に提出を行い、個人面談で個人目標を設定し、年2回（中間、期末）で達成度の評価と今後の課題を抽出し、課題解決のための研修ニーズを明確にしていま

す。研修では、先輩職員による OJT や園内研修を行い、さらに外部研修を積極的に受講し、研修受講後は職員会議で報告をして全職員で共有を図り、年間を通して取り組み、職員一人一人のスキル向上に向けて取り組んでいます。

《さらなる期待がされる点》

1. 【保育所の専門性を活かした相談機能】

●むつみ愛児園は、68年の歴史を持った由緒ある保育園であり、戦後、園長の母親が焼け野原となったこの地に、子どもたちを集めて遊べるよう活動したのがむつみ愛児園の始まりであり、現園長が志を受け継ぎ、園長・副園長とで運営を継続し、子育て支援の中には長年培った多くのノウハウが詰まっています。現代理論を否定するわけではありませんが、園長・副園長が保有されている、保育は「人が人を育てる」という子育ての信念・ノウハウを生かし、地域財産とした取り組みの一考を望みます。保護者のみに留まらず、地域の母親等への教え、子育て相談を定期的に実施する等、むつみ愛児園の PR 活動を含めた取り組みにぜひ、期待いたしております。

横浜市福祉サービス第三者評価結果

むつみ愛児園	
評価年度	29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と 保育計画等の作成</p> 	<p>●保育理念は、「子どもの健やかな成長を見守り、知性、情緒、行動、衛生などあらゆる面から子どもの発達を支援し、保護者からも信頼される保育園を目指します。」とし、子どもの最善の利益である、健やかな成長をあらゆる面から支援すると謳っています。保育方針は、「こころもからだもじょうぶなこ」、「一人一人の個性を尊重し、自主性を育み、遊びを通して協調性、忍耐力を培い、心身の健康と自立を育む保育」を目指しています。保育目標では、1. 「心身ともに豊かな子ども」、2. 「思いやりのある子ども」、3. 「意欲を持つ子ども」、4. 「自分で考えて行動できる子」とし、事務室、保育室に掲示して全職員に周知を図り、実践しています。</p> <p>●保育課程に、保育理念、保育方針、保育目標を示し、さらに、社会的責任・人権尊重・説明責任・情報保護・苦情処理解決の各分野で果たすべき役割も明文化しています。また、年齢別に保育目標を記し、養護（生命の保持、情緒の安定）・教育（健康、人間関係、環境、言葉、表現）・食育（食を営む力の基礎）の各分野の取り組み内容をクラス担任が原案を作成し、保育会議で全職員で確認し、策定しています。保護者に対しては、入園式と年度初めの懇談会時に説明を行い、改訂時は都度、園だより等で伝えています。また、保育課程に沿い、年齢別の年間、月間、週案、全園児の個別指導計画を策定し、週案の取り組みでは、子どもの意見を取り入れ、柔軟に実施しています。</p>

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



●入園前に入園説明会を実施し、子どもと一緒に来園を願い、保護者と面接を行い、その間、子どもの様子を保育士が観察しています。保護者には事前に、子どもの生育歴や、家庭状況等の記入をしてもらい、面接時に併せて聴き取りをし、情報は職員間で共有し、個別ファイルを作成して職員室内の施錠付き書庫に保管し、必要時に閲覧できるようにしています。新入児の受け入れに際し、短縮保育（慣らし保育）を実施し、子どもの状況、保護者の就労状況等を勘案して柔軟に対応しています。受け入れ時は、担当職員を決めて子どもが安心できるよう配慮しています。保護者との連絡は、ホワイトボードを活用し、諸事を記入し、口頭でも伝え、保護者と密に連携を図るよう努めています。在園児への配慮では、複数担任の内、一人は持ち上がりとし、3歳児クラスは期間を決めて職員1名の加配を行い、子どもの安定を図るよう配慮しています。毎月、2歳児～5歳児の個別指導計画を作成し、評価改訂についてはクラス会議、保育会議で意見交換を行い、保護者から日々の送迎時の会話やクラス懇談会等で意見・要望を聞き、計画に反映させています。

I-3 快適な施設環境の確保




●施設環境について、歴史ある園舎ですが、毎日、園内外の掃除を丁寧に行い、副園長を含め職員で順番に当番とし、清潔に保っています。園庭は、周囲に大きな桜の木やヒマラヤスギ等が植栽され、自然溢れた環境の中に砂地で330㎡の広さを有し、砂場、ジャングルジム、鉄棒、滑り台、つるつる山等の固定具が設置され、安全に管理しています。幼児用トイレは園舎中央部に配置され、トイレの前の流し台では手洗いと共に、温水を完備し、プール時や外で汚れた際、排泄時等、体を清潔に保つよう設備しています。流し台は、常に掃除し、清潔を確保しています。保育室内は、自然換気を行い、エアコンを設備し、職員により温度調整を図り、子どもが過ごしやすいよう配慮しています。

●午睡時は、室内はカーテンで採光を調整し、温・湿度調整を行い、快適に安眠ができるよう環境を整えています。

I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力




●指導計画については、月別のねらいに基づき、発育状況を加味した個別の支援方法を記し、全園児の個別指導計画を策定しています。計画は、クラス担任間で共有を図り、毎日のミーティングや保育会議で振り返りを行い、子ども一人一人の発達状況に合わせて変更、見直しを実施しています。保護者には、口頭で連絡し、個別にオムツ、トイレトレーニング、箸の使用等について園

	<p>での状況を説明し、保護者と密に連携しながら変更・見直しを進めています。特別な課題がある子どもも発達状況に合わせて個別指導計画書を作成し、経過票、療育の記録等により柔軟に変更・見直しを行い、保護者には「お知らせ」により連絡を行い、連携しながら対応しています。</p> <p>●子ども一人一人の記録（児童票・健康台帳・個人票・成長発達記録等）は、施錠付き書庫に収納し、守秘義務規定に則り、必要に応じて職員が閲覧できるようにしています。記録は、職員間で共有を図り、重要な申し送り事項を記録し、進級時に引き継ぎを行い、継続して記録しています。また、保育所児童保育要録を作成し、就学先の小学校に送付しています。</p>
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<p>●特に配慮を要する子どもについては、児童の様子も判断して受け入れを行っています。個別カリキュラムを設定し、日々のミーティングや保育会議で話し合い、全職員で情報を共有しています。職員は、横浜市や地域療育センター、関連書籍からの最新の情報を基に園内研修を実施し、知識向上を図り、研鑽しています。さらに、副園長は、対象児の成長に合わせた無理なく取り組む配慮と、経験に裏打ちされた子ども本意の個別対応により育成の成果を上げています。</p> <p>●障害児保育のための環境整備では、園舎の構造的関係からバリアフリー等の対応はありませんが、保育目標に記された「思いやりのある子ども」を育む実践として、障害児と他の子どもとのかわりや、特性を考慮した特別指導計画を立案し、全職員で共有し、保育の体制は整備されています。バリアフリー等については、今後の一考を期待いたします。</p> <p>●虐待防止と早期発見については、マニュアルに基づき、プロとしての自覚に立って職員間で話し合い、行うべき行動の確認と、日々の受け入れ時、毎日の視診で早期発見に努めています。虐待の疑いがある場合は、副園長と職員間で話し合い、適切に対応できるよう体制を整え、子ども、保護者の見守りを行っています。また、児童相談所等の関係機関と連携し、保護者とのコミュニケーションに努め、家庭支援の必要な保護者との信頼関係構築に努めています。</p> <p>●アレルギー児への対応では、医師による診断書を基に、アレルギー疾患のある子どもには除去食、代替食の対応をしています。保護者に、生活管理指導表および食物アレルギー対応票を提出し</p>

	<p>てもらい、調理日誌に記録し、十分に留意しています。給食時には、色分けした別トレイに除去食プレートを添付し、別調理された（おやつを含む）料理を調理師、保育士の複数で確認し、誤飲誤食がないよう徹底しています。</p> <p>●文化が異なる外国籍の子どもへの対応について、入園時の面談で言語、表現、食事（宗教食等）、生活習慣を確認し、状況に応じた対応を行っています。言語コミュニケーションでは、絵や写真を活用し、実物を示す等、わかりやすいよう丁寧な対応に努め、意思疎通を図っています。園では、過去を含め外国籍に係る子ども（6名）の受け入れ経験を持ち、現在も2名が在籍しています。外国籍の保護者については、送迎時のコミュニケーションを大切にし、配付物等にはルビを振って配慮しています。また、子どもの日本語の慣れにより子どもが通訳する等、子どもの順応もみられています。</p>
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<p>●苦情・要望等については、重要事項説明書に、苦情・要望等の窓口の設置、受付責任者、受付担当者、第三者委員の名前と電話番号等を明示し、入園説明会で説明を行い、周知しています。</p> <p>●保護者からの苦情等に関しては、「苦情対応マニュアル」に沿って対応し、全職員に周知しています。また、登降園時に直接、職員に話せる雰囲気作りに努めています。苦情等を受けた場合は、マニュアルに沿い、職員会議で検討および対策を話し合い、速やかに対応しています。苦情等の経過・検討・対応結果は、所定用紙に詳細を記録し、ファイルの保存を行い、再発防止に役立っています。</p>

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II - 1 保育内容 [遊び]</p> 	<p>●玩具、教材等については、子どもが自発的に活動できるよう、保育室に玩具収納ケースを設置し、時間に合わせて保育士から提供し、子どもたちは好みの玩具を選び出し、自由に遊べるようにしています。園庭にも玩具のかごを用意し、好きな遊びができるよう様々な用具等を揃えています。本棚は、子どもの背丈に合わせて設定し、自由に選べるようにしています。園では、使った玩具は片づけることを習慣化できています。</p>

●子どもが遊びを集中できるよう、保育室の机、テーブルを片付け、広々としたスペースを設け、ブロックの組み立てで宇宙船を創造したり、つなぎ合せたレールに電車や車を集中して走らせる様子を見たり、人形ハウスを組み立て人形でお話しながら遊んだり、お手玉遊びで数を数える等、思い思いに遊び込めるよう環境作りを行っています。

●園では、一斉活動に偏らないよう配慮して、年齢に応じて自由遊びを中心にカリキュラムを組んでいます。子どもが友達同士でそれぞれの役割を持って遊ぶお店屋さんごっこや、お菓子屋さんごっこの遊びや、好みの絵本を読んで保育士と静かに過ごす子ども等、子どもの自主性を大切にしたい遊びができるようにしています。合同の遊びでは、地面に迷路を描いて各コースに名前を付け、「進める・進めない」等、子どもたちでルールを決め、ルールを守る楽しさと大切さを学ぶ機会にしています。また、新聞紙を丸めてボールを作り、投げたり、蹴ったりして遊ぶ中から、テープを巻くと壊れ難いボールになることを発見する等、喜びと学びにつなげています。

●自由表現の遊びでは、子どもたちの歌や、リズム、絵や文字、体を動かす等の体験を通して、気持ちを自由に表現できるよう取り組み、クレヨンと自由画帳を使って、自由に絵を描き、想像力を大切にして表現できる機会を設定しています。また、発表会で演じる劇の役割りでは、子ども同士で入れ替わってセリフを言う等、自分表現を楽しむ機会につなげています。

●栽培と飼育については、入り口のフェンス沿いのプランターに野菜の種を蒔き、小松菜、トマト、ピーマン、ゴーヤ等を栽培し、水やりをして生長を観察し、収穫の楽しみを味わい、食育につなげています。ゴーヤは、夏場の緑のカーテンとして役立つ他、実の収穫も十分にあり、他の収穫物と共においしく調理してもらい、子どもたちは収穫した野菜を摂っています。飼育では、5歳児の保育室前にはシマリスの小屋があり、子どもたちがエサをあげ、生態を観察したり、メダカも飼育しています。保育室では、カブト虫の幼虫を飼育し、生き物への愛情と命の大切さを学ぶ機会にしています。

- 園外活動として地域への散歩は出かけていませんが、園の前を通りかかる方や親子に挨拶を交わして交流し、園庭の利用者との交流を図り、秋にはどんぐり集めも地域の子どもと行っています。
- 子ども同士のケンカでは、上手く表現できずに噛みつき等の行為では、保育士は、過度の制止はせず危険が無いよう見守り、状況を落ち着ついて話せるように促し、互いに向き合い、考えるよう、子ども同士で解決できるよう援助しています。
- 異年齢交流は、登降園時の一時での合同保育や、園庭で一斉での遊び、食事を異年齢で一緒に食べる機会を設けて交流しています。むつみ愛児園の園舎は平屋造りであり、常に異年齢を意識して過ごせる環境にあり、年上の子どもが年下の子どもを思いやり、年下の子どもは年上の子どもに憧れを持つ機会が日常的に交わされています。
- 健康増進の工夫では、園の特徴の一つである広い園庭でのびのびと自由に駆けたり跳んだりして体を動かす機会を多く設けています。紫外線対策としては、園庭での外遊び時や夏のプール遊び時には遮光ネットを張り、帽子を被り、日焼けおよび紫外線対策を行っています。

II-1 保育内容 [生活]



- 食育について、むつみ愛児園では、毎日、各クラスの当番を決め、2歳、3歳児の出席人数を連絡票に書いて4歳児クラスに持って行き、4歳児の人数と合わせて5歳児クラスに連絡票を渡しに行き、5歳児の当番が調理室に全人数を知らせ、調理をお願いします。子どもたちは、この役割が誇らしく、当番が来る日を楽しみにして当日の体調管理に努めています。偏食については、家庭と連携しながら、無理強いをせず、園で収穫した野菜を友達と一緒に食べることで興味を持たせ、初めて食べる野菜等も極少量にして提供し、食べられた時には拍手で褒め称え、興味と自信を持たせて克服できるよう支援しています。
- 食事のマナーでは、「箸を振り回さない」、「食べ歩きをしない」等、他の友達の迷惑になることを伝え、食事マナーを守ることを教えています。3歳児から当番制を取り入れ、「それではみなさんいただきます」、「ごちそうさまでした」の挨拶や、配膳、下膳を行い、食事の一連の流れを学び、調理をする人、食事への感謝を伝えています。食器・食具については、3歳児から滑り止めのついた箸を使用し、長さも子どもの手に合わせた長さを用意して

います。食器は、年齢に応じた大きさ・重さに配慮し、茶碗は陶磁器、お椀は安全規格に合った樹脂製を採用しています。

●献立は、調理師が年間の献立を作成し、毎食がおいしく楽しい食事となるよう、子どもの好む食材、味付けを工夫し、酢は効き過ぎず、塩分は少なめにし、旬の食材、素材の風味を生かし、園の伝統の味付けを継承して提供しています。また、調理師は、日々の喫食状況を確認し、栄養バランス、子どもの好みを捉えた献立を工夫しています。保護者へは、月間献立表を事前に配付し、食材、調理法も示して知らせています。食材は、消毒や農薬付着を考慮し、地域の商店の協力の下、青果、肉、魚を使用しています。

●2歳～3歳児は同じ保育室で午睡を行い、保育室を片付けて清潔にした上で布団を敷き、保育士が傍について子どもの状況に配慮しながら安心して午睡ができるようにしています。4歳～5歳児は、4歳児の保育室で、保育士の読み聞かせを受けながら机にうつ伏せて目を閉じ、休息するようにしています。眠りの必要な子どもには、2歳～3歳児の保育室で一緒に眠るように配慮しています。

●排泄については、保護者と連携を図り、個人差を尊重し、一人一人のリズムを捉えてトイレトレーニングを進めています。トイレは和式仕様で、男子用の便器を揃え、子どもの申し出によりトイレを使用し、保育士に着脱をしてもらいトイレに行く子どもや、時間を見計らって声かけによりトイレに行く子ども等、保育士は個人差を考慮して個別に丁寧に対応しています。トイレには扉があり、プライバシーを確保しています。排泄に失敗した時は、子どもの羞恥心に配慮し、温水で体を清潔にしています。

II-2 安全管理 [健康管理]



●健康管理では、マニュアルを備え、入園時に保護者から健康台帳に必要事項を記入してもらい、子ども一人一人の健康状態を把握しています。既往症については、入園児の健康記録を基に、継続的に確認し、職員間で共有しています。変化がみられた場合は、都度、ミーティングで報告し、引継ぎ時には副園長、全職員で共有を図っています。

●定期的に健康診断（年2回）、歯科健診（年1回）、尿検査（年1回）、視聴覚健診（4歳児/年1回）を実施し、診断結果は、身体測定カードや健康記録ノートで保護者に連絡し、歯科健診の結果により必要に応じて家庭で治療を促しています。歯磨き指導については、園では行っておらず、家庭での管理をお願いしていま

	<p>す。</p> <p>●感染症等については、入園のしおりに感染症停止基準や感染症の疑いが生じた場合の対応を明示し、入園時に入園のしおりに沿って、インフルエンザ・おたふく風邪・麻疹等の例を挙げて保護者に説明しています。感染症が園内で発症した場合は、速やかに保護者に連絡して状況報告を行い、別室で隔離をし、園内拡散に十分注意しています。地域の流行感染については、各機関から情報を入手し、入り口に情報を掲示をして注意喚起を行い、職員へも周知徹底を図っています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>●衛生管理は、マニュアルを完備し、入職時の研修の他、年2回衛生管理の研修を実施し、全職員に周知を図り、確認しています。園では、子どもたち入室前の手洗い・うがいを慣行し、洗面所には図解でわかりやすく掲示しています。全ての玩具はマニュアルに則り、消毒を実施して衛生に保ち、各クラスに吐瀉物処理セットを設置し、ノロウイルス感染予防に備えています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>●安全管理では、園長は、毎朝、園の外回りの掃除を兼ねて門扉、遊具等の点検を行い、備品等に滑り止めで転倒防止を講じ、職員が担当保育室の点検、管理を行っています。月1回、様々な災害を想定して防災訓練を実施し、地震の際は園庭に留まることも想定して訓練しています。津波対策では、園から裏の高台へ非難することを子どもにも教えています。地域の防災訓練にも参加し、協力要請も行っています。</p> <p>●事故やケガについては、保育中にケガや事故が発生した場合は、担任が副園長に報告し、保護者に速やかに連絡を行い、適切に対応しています。通院が必要な事故やケガについては、直ぐに保護者に連絡し、事故報告書に詳細を記録し、医師とも漏れ・誤り等が生じないように記録を行っています。現在、ヒヤリハット記録・管理の準備を進めています。</p> <p>●不審者の侵入に関しては、門の施錠や、防犯カメラ3台を設置し、非常110番通報装置を備え、直ぐに通報できる体制を整備しています。また、定期的に不審者対応訓練を実施しています。不審者情報は、戸部警察から携帯に連絡を受けるシステムになっています。</p>

II-3 人権の尊重



●園長は、「こころもからだもじょうぶな子」の実現に向け、子どもが元気にのびのびと園庭で遊び、体を鍛え、協調性・忍耐力を培う保育を推進し、子ども自身でことの善悪を考えることができ、人を労い、何事もやり抜く子どもに育つよう、全職員に指導を行い、常に子どもの安全と、子どもを中心とした、人権を尊重した保育を行っています。

●子どもが一人で落ち着ける場所や、友達や職員の目を意識せず過ごせる場所としては、職員室のカーテンを閉めて過ごしたり、保育室の隅に椅子を壁側に向けて一人で過ごすこともできます。今後は、仕切り等を活用してコーナーを設ける等、取り組んで行く予定です。

●個人情報や守秘義務について、職員は、新任研修時に説明を行い、周知しています。実習生やボランティアに対しても、個人情報および守秘義務について説明を行い、誓約を得ています。また、個人情報の取り扱いに関するガイドライン（肖像権含む）は、各クラスに備え、保護者、全職員に周知しています。

●性差に関する配慮では、遊びや行事での役割、持ち物や服装等は区別することなく、順番、グループ分け、整列も区別はしていません。教材は、子どもの好みに合わせて自由に選択できるようにし、保護者についても、母親・父親の役割等、固定的に捉えた表現はしないようにしています。

II-4 保護者との交流・連携



●園目標は、入園のしおりに明示し、入園時に保護者へ説明を行い、園内にも入園のしおりを掲示しています。また、園だよりに保育方針を記載し、日々の保育内容と共に伝えています。行事の際は、園の保育についての考え方、方針の説明を行い、子どもとのかかわり方、目指すべき子どもの姿を示し、理解を促しています。

●園生活での子どもの様子や活動内容は、クラスノートに記載して保護者が閲覧できるようにし、口頭でも伝えるようにしています。保護者への連絡事項は、副園長、職員間で情報を共有し、どの職員でも対応できるようにしています。

●個人面談は、年間を通して随時、個別に受け付けています。保護者の相談面談では、プライバシーを確保し、相談を受けた職員は、他の職員と連携し助言を得られるよう体制を整えています。

●園生活に関する情報は、定期的にお知らせを発行し、その日の子どもの様子については、送迎時にお知らせしています。また、

	<p>年2回、保護者懇談会を開催し、日々の保育の様子や子どもの様子を伝えています。保育参観については、保護者の希望に応じて常に受け付けています。</p> <p>●むつみ愛児園では、父母会（保護者会）を設定し、年2回開催し、役員会は年3回実施しています。父母会には、主にバザー等に協力を願い、園と共に取り組み、共催事業では、職員も参加しています。また、園が実施する各種行事（餅つき、運動会、夕涼み会等）にも父母会の手伝いをいただいています。運動会、お遊戯会等での写真撮影は、父母会の協力を得ています。副園長は、父母会の役員、保護者とコミュニケーションを図り、良好な関係を構築しています。</p>
--	--

評価領域 III 地域支援機能評価領域

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた 子育て支援サービスの提供</p> 	<p>●地域の子育て支援について、むつみ愛児園では子育て支援事業は実施していませんが、地域交流として、地域の子どもたちが園庭での砂遊びや、飼育しているシマリスを見学を訪れ、園庭を開放しています。地域の子育て支援のニーズに関しては、卒園児や保護者からの声を情報とし、参考にしています。関係機関や地域の他施設とは、近隣の小規模保育園の連携園として協力関係を構築し、受け入れています。また、神奈川県主催の研修会等に参加して地域のニーズを把握し、幼保小連絡会議にて地域の子育てニーズの情報を収集しています。得た情報は、職員間で共有を図っています。今後、園がこれまで培ってきた保育・子育て等を、地域の子育てに悩む母親や、情報を得たい母親、子どもとの遊び方がわからない母親等、経験豊かな副園長、職員で定期的に育児相談の実施や、一時預かり等の取り組みを検討していかれることを望みます。</p>
<p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<p>●地域住民に対する園の情報提供では、西区の子育て情報サイト、広報よこはま西区版に掲載して情報を提供しています。育児相談については、園庭開放の利用者から要望に応じて行っています。また、園の情報提供の1つとして、園主催のバザーや、子どもの作品展を掲示にて知らせ、保護者や地域の方々に参加を促しています。</p>


	<p>●関係機関や団体との連携については、副園長を担当とし、西区役所こども家庭支援課、横浜市中央児童相談所、横浜市中部地域療育センター等と連携を図り、必要に応じて相談・助言を受ける体制を整えています。</p>
--	--

評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>●地域への園の理解促進の取り組みとしては、園行事の餅つき、運動会、バザー、作品展等、自治会の協力により掲示板にポスターで案内を行い、地域の方々を招待し、園の理解を促す機会に努めています。また、地域の親子に園庭開放を行い、園を知ってもらう機会にしています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、歴史あるむつみ愛児園は、従来から地域とのつながりも深く、地域の資源として存在し、園の前を通る近隣の方々や子どもたちと挨拶を交わし、交流を図り、保育士、子どもたちは大きな声で挨拶をしています。地域で行われる祭りにも子どもが参加し、交流しています。</p>
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>●園のサービス内容・園目標等の情報提供は、入園のしおり、重要事項説明書に園のサービス内容（保育方針、保育内容、通常開園時間、給食、保育日程表、準備用品、約束事）を詳細に明示し、保護者に提供しています。また、園のホームページ、西区の保育園広報誌、横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」等に園の紹介をしています。園見学者や来園者には必要な園の情報を提供しています。</p> <p>●利用希望者の園見学に関する情報は、西区の案内で周知され、利用者の問い合わせの対応は、副園長が行っています。園見学については、利用者の希望日に添った対応に努め、受け入れを行っています。</p>
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<p>●ボランティアの受け入れでは、マニュアルを整え、副園長を窓口とし、マニュアルに沿ってオリエンテーションを行い、園の理念、保育目標、個人情報・守秘義務について理解を促し、受け入れられています。ボランティアでは、近隣の中学校の職業体験を受け入れ、終了後は、体験で得た感想を学校壁新聞とし、礼状と共に、園の子どもたちにも送られています。</p>

	<p>●実習生の受け入れは、副園長が窓口となり、マニュアルに沿ってオリエンテーションを実施し、園の理念、保育目標、個人情報・守秘義務について説明を行い、実習生の実習課題に沿ったカリキュラムを作成し、受け入れています。実習終了後は、担当職員と懇談会を設け、意見や課題等を次回に生かしています。</p>
--	---

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>●必要な人材の採用については、保育所運営に必要な人材構成、要員を把握して確保し、人材の補充については、十分な人材構成であるかを検討し、必要に応じて随時、補充する体制で運営しています。現在、入所児童数（2歳児～5歳児）に対する職員数は確保しています。</p> <p>●職員、非常勤職員の研修体制については、新人研修を始め、外部研修、園内研修等で倫理、虐待、拘束、救命救急、保育技術、安全、衛生等の研修を推奨し、職員の希望による講座に参加し、積極的に研鑽を図っています。研修受講後は、レポートを作成し、職員会議で報告を行い、全職員で知識・技術の共有を図り、保育に生かしています。</p> <p>●人材育成では、定期的に園内研修を実施し、非常勤職員も含め全職員が参加し、資質向上につなげています。日常業務では、副園長、先輩保育士からOJTを行い、技術向上を図っています。実務にあたっては実務年数等を考慮し、正規職員との組み合わせに配慮し、マニュアル、必要ファイルを閲覧できるようにして必要情報・知識の共有を図っています。園長は、非常勤職員・職員間のコミュニケーションを図りながら円滑に保育を進めています。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<p>●保育士の自己評価は、年度末に達成度評価をし、年度初めに職員個々の必要課題は何であるかを日々の職務遂行を振り返り、検討しています。また、園外・園内研修、先輩職員、副園長等からOJTを受け、スキルアップに取り組んでいます。</p> <p>●保育所の自己評価については、今年度の第三者評価受審により園の課題、改善に向けて取り組み、次期につなげていきます。サービス向上の改善では、発表会の演目について過去の演目を振り返り、小道具等の改良・改善を行い、経費節減と製作時間短縮の効率を図り、子どもたちの喜びにつながるよう取り組みました。</p>

V-3 職員のモチベーション維持



●職員は、園のサービスの資質向上につながることを念頭に置き、自己管理目標に取り組み、自己の資質向上、目標達成に取り組んでいます。指導計画表に、期待水準、経験・能力・習熟度・役割を明示し、自己の振り返りで「見える化」を図り、研修体制も確立させています。また、副園長は、職員個々の希望、意向を吸い上げ、より良い園・職場環境作りに努め、職員のやる気につなげています。

●保育の現場での権限を移譲については、むつみ愛児園では、各職員の職務を明確にして運用が図られています。保育上の諸事項で「いつ」、「誰が」、「実行するのか」の必要性が発生した場合は、職員会議で検討し、責任者が提案者の意見を承認し、自主的に判断し、処理を任せる仕組みを構築しています。結果、職員の満足度につながっています。

評価領域 VI 経営管理

評価分類

評価の理由(コメント)

VI-1 経営における社会的責任



●職員の守るべき法・規範・倫理等は、就業規則に明示し、入社時に周知徹底しています。規定集はいつでも閲覧できるように職員室に設置しています。他施設で発生した不正・不適切な事案、事故事例等の情報は、特に、メディアで取り上げられた事象に関しては、副園長から全職員に詳細を説明し、「対岸の火事」に成らぬよう、啓蒙し、意識ある行動と、守るべき規範について再確認しています。

●環境整備では、マニュアルを作成し、横浜市の条例に基づきゴミ減量化や、ゴミの分別、リサイクルに取り組み、省エネルギーの促進では、節電、節水を心がけ、子どもたちに蛇口をきちんと閉める、手拭き紙の使い方等を図式、ポスターにして啓蒙しています。園庭には大きな桜の木等の四季折々の木々が植わり、プランターで野菜の栽培を行い、ゴーヤを育てて緑のカーテンを作り、緑化促進を行っています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

●園目標は、明文化し、園内に掲示して示しています。保護者に対しては、園のしおりに明示し、入園説明会で園のしおりに沿って説明しています。また、園見学者にも理念・保育方針が明示されたパンフレットを手渡し、周知しています。職員に対しては、入社時の研修で説明を行い、理解度を確認し、理念、方針が保育



で反映されるよう、意識統一に努めています。

●重要な意思決定については、園長は、保護者からの情報、意見を把握し、クラス担任と連携を図り、役割分担を決定し、保育課題の解決に取り組んでいます。また、園全体の取り組みとして、検討チームを編成し、給食に関して、調理チームの提案で現状の変更が生じる場合は、子ども、保護者、職員から意見を収集し、意見を参考にしながら変更を実施するようにしています。

●主任クラスの育成については、園では主任の業務に該当する職員を外部研修に参加を促し、園全体を把握する役割の職員の育成に努めています。まとめ役とした職員は園長の補佐となり、各クラスの状況を把握し、職員個々の心身に配慮し、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行い、円滑な業務に向けて尽力しています。

VI-3 効率的な運営



●園長、副園長は、運営に関する情報を収集し、歴史ある園を継承し、理念に基づいた運営に取り組んでいます。園長の経営意向、情報、特に事故などの情報については、職員会議で全職員に周知し、見直し、改善を図っています。

●中・長期計画については、短期（1～3年）、中期（3～5年）、長期（6年～）の事業計画を、経営・保育事業・人材育成の面から長期展望の基、「子どもの幸せと園の発展」を踏まえて策定し、次期継承者を育成し、より良い園運営に尽力しています。

29年度 福祉サービス第三者評価 本人（園児）調査結果報告書

むつみ愛児園

(株)R-CORPORATION

観察調査日	平成30年1月25日・26日
保育の観察	調査者2名で2歳～5歳児のクラスの視察、観察を行いました。園のカリキュラムに沿って午前の保育観察を行い、保育士とのかかわり方、園児の様子観察を行いました。各年齢については1日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

■子どもの様子・保育の様子

<2歳～5歳児>

【遊び】

●訪問日午前中、柔らかな暖かい日差しが広がり、広い砂地の園庭で2歳児～5歳児が入り混じりながら元気に遊んでいました。3歳児と4歳児は、園庭の棚に置かれた籠から、スコップ、コップ等を持ち出して、砂場で友達と話をしながらしきりに砂まんじゅうを作っては壊し、繰り返して遊んでいます。5歳児は、園庭を自由に走り回り、ジャングルジムに登ったり、思い思いに元気いっぱい遊ぶ姿が見られました。保育士は、それぞれ立ち位置を持って子どもたちを見守り、2歳児もおぼつかない足取りながらも、追いかけてっこをしたり、発泡スチロール製の手作りの新幹線にまたがって遊んだり、喜々として遊んでいます。5歳児の保育室前に設けられたリス小屋には3匹のシマリスが飼育され、2歳児の子どもたちが副園長先生にからまりながら小屋の前に集って「エサちょうだい」と言い、小皿に入れたヒマワリの種をもらってシマリスに渡すと小さな両手で受け取り、子どもたちが次から次に与えるのでシマリスの頬はパンパンです。子どもたちはその様子が面白いようで、「もっと」と言いながら、今度は新聞紙を細く引き裂いたものをもらい、手渡すと、巣の中に運んで行き、「あっ、入っていった」と観察をしていました。メダカも飼育され、3歳児が「今は寒いからあまり動かないんだよ」と話してくれました。自然に囲まれ、砂地の広い園庭と小動物がいるむつみ愛児園は、のびのびと自由に遊ぶ子どもたちの大好きな場所となっています。

<2 歳児、3 歳児>

【午睡と着替えの様子】

●午睡では、2 歳児（つくし組）、3 歳児（すみれ組）は同じ保育室で布団を敷いてみんなで午睡を行います。入眠時にゴソゴソしていた子どもも保育士に優しく背中をトントンしてもらおうと心地良く眠りについていました。午睡後は、寝起きはそれぞれでしたが、保育士の声かけで順番にトイレに行き、着替えを始めます。着替えでは、首や手が通らないなど一生懸命に取り組み、前後・裏表の間違ひもなく上手に着替えができていました。調査者を子どもたちが見つけて、にっこりと笑って手を振る子どもや、まだ人見知りで保育士に抱き締めてもらう子ども、調査者が首からかけている名札ケースに付いている小さなミッキーマウスを見つけて興味を示して近づいて来る子ども等、ぐっすり眠った後は、それぞれが好きな玩具で遊び、おやつを待ちます。

<4 歳児>

●4 歳児（さくら組）は、お遊戯会の練習を行っており、人数を 5 人ずつに分けて風車を使った踊りの練習をしていました。昔懐かしい風車を手にして踊り、踊りながら風車がきれいに廻るように、手を伸ばして大きく風車を廻します。しかし、手足を使っての踊りの方に注意がいきってしまい手の先の風車にまで注意が行かない様子で、担任が一生懸命振り付けを伝えていますが、どうしても風車が上手く廻らず、副園長先生も思わず指導に加わります。半数の子どもたちの練習が終わると、園庭で遊んでいた残りの子どもたちと入れ替わり、練習を始めました。本番の発表会では全員で踊り、きつとうまく風車も廻り立派に踊れることでしょう。

<5 歳児>

●5 歳児（ゆり組）は、2 歳、3 歳児の保育室で行っているお遊戯会の劇の練習を見せてもらいました。演目は「てぶくろ」です。大きな手袋が落ちているところにいろいろな動物たちが順番にやってきて手袋の中に入っていくお話です。子どもが演じる小動物たちがやってきて、「あれ、何か落ちているよ」、「わぁ～大きなたぶくろだ!」、手袋の中に入ると「温かいなあ～」とセリフを言います。キツネがやってきて、「中に誰もいないのかなあ」と言いながら辺りを見渡し、「僕たちが 1 番かな」と言いながらキツネが「お～い」と声をかけると、手袋の中から小動物たちが「は～い」と声を返します。キツネが「入ってもいいかい?」、「いいですよ」と言葉を交わし、手袋の中に入って「温かいなあ～」と言いながら次々と動物たちがやって来て手袋の中に入ります。最後にやって来たのは大きなクマさんです。手袋を見つけて「入ってもいいかい」とお願いすると、中から「もういっぱい

で入れないよ～」と応え、それでもクマさんは手袋の中に入れて行こうとします。そして、動物たちでいっぱいになった手袋ははちきれそうになり、落とし主が現れて、みんなが手袋から出て行き、でも、みんなのお家は「温かかったなあ～」という話を見せてくれました。劇の間に保育士の弾く「足踏みのオルガン」の音楽が流れ、味わいのある、今は聞けない音色に情景の深見が増します。見ていて思わず拍手です。保育士と子どもたちが一列に並んで「ありがとうございます！」と礼をしてくれました。続いて、「大きなかぶ」の劇を披露してもらい、大きなかぶを、おじいさんやおばあさん、色んな動物と力を合わせて「よいっしょ、よいっしょ」と引っ張る時が劇のポイントで、保育士のオルガンの音に合わせて右足を軸に左足を大きく上げて、全身で綱を引きます。動作では、中々みんなの呼吸が上手く合わず、保育士が一人一人の立ち位置から足を上げる動作を振りつけ、何度も声と体の動きを合わせて一生懸命練習を行います。子どもたちは何度も繰り返し練習し、みんなの呼吸が合い、最後にもう一度仕上げを行い、最初に比べるととてもうまくできました。みんなの頑張りに大きな拍手を送りたい気持ちになりました。

【食事】

食事では、4歳児と5歳児の食事にそれぞれ同席させてもらいました。メニューはぶりの魚と、野菜と卵の炒め物に味噌汁です。調理では、子どもの体作りと味覚に伝統的な拘りを持ち、化学調味料は一斉使わず、カツオ、昆布で出汁を取り、おいしくいただきました。5歳児は、4箇所のテーブルに分かれて食事を摂り、食事中は、調査者への質問や、自分の家の話や、調査者に近い（年齢）子どもの身近な話から「私のおじいちゃん、おばあちゃんは〇〇のところに住んでいるんだよ」という話や、祖父母の年齢まで教えてくれ、興味から話が膨らみ、笑いが飛び交い、楽しく会話を交え、食事の手が止まるほどでした。保育士がお代わりの希望を聞くと、ほとんどの子どもがお代わりをしていました。おいしい食事と楽しい食事の団欒を過ごし、食事が終わった子どもは片隅に寄せられたテーブルに行って遊び始めます。全員が食事を終わると、当番の子どものかけ声で、終わりの挨拶があり、みんなで片づけを始め、残食はありませんでした。食後は、全員が遊びを始め、ブロックで本格的なロケットを作って遊ぶ子どもや、本を出して間違い探しを友だちと行う等、5歳児になると遊びに創造を加え、真剣に取り組み、回答を引き出す緻密な遊びを行っています。保育士も一緒になって楽しい一時を過ごしていました。

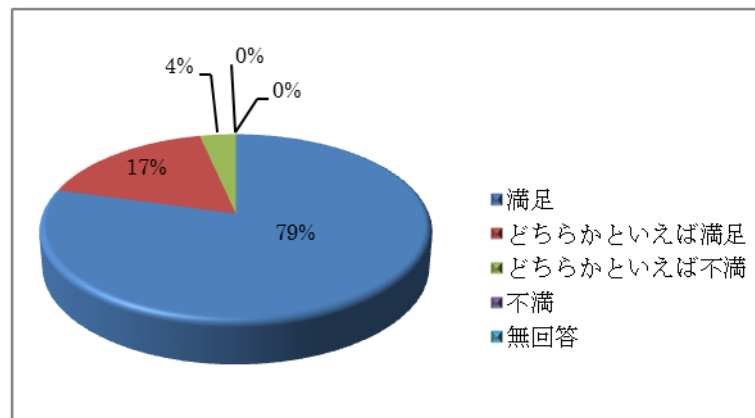
【むつみ愛児園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	29年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配布世帯数（世帯数 31）
有効回答数	29 世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	94%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
		6 世帯	7 世帯	7 世帯	8 世帯

未記入 1 世帯

*回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、職員の対応についての項目が総体的に『満足』が高く、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）見ると、中でも「話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて」が、「ほぼ満足」100%を得ています。『満足』の高い項目では、「おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか」、「お子さんの体調への気配り」、「話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて」の3項目についての『満足』は90%を示しています。「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されている」、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」、「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についての4項目では、『満足』は86%となっています。「ほぼ満足」として高い項目では、「費用やきまりに関する説明」、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているか」、「お子さんが給食を楽しんでいるか」、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれ、残業等で迎えが遅くなる場合の対応」、「お子さんが大切にされているか」、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」、「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」、「意見や要望への対応」についての項目

が、「ほぼ満足」は 100%を得ており、保育園のサービス提供について高い評価を得ています。

●アンケートの自由記述からは、「相談事もしっかり聞いて柔軟に対応してくれる」、「子どもたちが毎日のびのびと過して安心して預けられる」、「挨拶等、日常生活のルールや就学に向けての準備等、丁寧に教えてくれる」、「家庭的で温かい雰囲気、とても良い園」、「先生（保育士）方も優しく、頼りがいがある」、「先生（保育士）間でも連絡・情報をよく共有している」、「親子共々大満足している」等の意見が挙がっており、信頼関係が構築されていることがうかがえます。保護者は、園の雰囲気、保育士の対応、子どもの接し方に非常に満足し、好評価を得、むつみ愛児園に対して感謝と喜びの声が多く挙がっています。

●『不満』および、比較的『満足』が低い項目は、ほとんどありませんが、「自然に触れたり、地域に関わる等の園外活動」についてが、『不満』14%と比較的特化し、『満足』についても比較的低い項目になっており、『満足』では 41%、どちらかといえば満足 21%、どちらかといえば不満 21%、『不満』14%、その他 3%であり、「ほぼ満足」は 62%という結果になっています。保護者の意見からは、「もっと園外の体験があるといい」、「短時間の園外保育があって欲しい」との声もあり、園外活動の取り組みに期待されます。

●保育園の基本理念や基本方針については、よく知っているが 21%、まあ知っている 55%、どちらともいえない 10%、あまり知らない 14%という結果になっています。それらの賛同については、賛同できる 59%、まあ賛同できる 17%、無回答 24%にて、76%がほぼ賛同を示しています。利用者からはサービスに関して満足度も高く、保育の根幹となる保育目標、保育方針をより理解を促す工夫に期待されます。

●アンケートの自由記述からは、「子どもの成長記録等の手紙が欲しい」、「園での活動写真があるといい」、「園外活動に取り組んでほしい」等の意見が挙がっています。それぞれに関しては園から説明、周知されていると思いますが、保護者からの意見、要望等について受け止め、利用者の理解や協力につなげられるよう、検討を図り、継続して園の良い点を生かし、さらなる良い園作りを期待しています。

●総合的に、『満足』は 79%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は 17%、『どちらかといえば不満』3%にて、サービスの提供について、96%「ほぼ満足」している、と捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

むつみ愛児園

【保育園の基本理念や基本方針について】

※上段%、下段人数で示していま

す

問 1

利用者調査項目		よく知っ ている	まあ知っ ている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じで すか。	21%	55%	10%	14%	0%	0%
		6人	16人	3人	4人	0人	0人
		賛同でき る	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できる ものだと思いますか。	59%	17%	0%	0%	0%	24%
		17人	5人	0人	0人	0人	7人

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	79%	14%	3%	0%	3%	0%
		23人	4人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		・入園前から子どもの不安があったが、対応していただいた。 ・急な転園を要したため、唯一空いている当園に入らざるを得な いため、見学はしなかったです。					
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供につ いては	66%	28%	7%	0%	0%	0%
		19人	8人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》		・丁寧に説明していただきました。					
5	園の目標や方針についての説明には	55%	31%	3%	0%	10%	0%
		16人	9人	1人	0人	3人	0人
《その他意見》		・十分だった。 ・説明がなかったです。 ・改めて、お聞きしたことがあまりありません。					

6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	59%	34%	3%	3%	0%	0%
		17人	10人	1人	1人	0人	0人
《その他意見》		・個別でも話し、対応していただいた。					
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	59%	31%	0%	3%	7%	0%
		17人	9人	0人	1人	2人	0人
《その他意見》		・十分だった。 ・説明がなかった。 ・テレビを視聴する時間があることは知らされていなかった。					
8	費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	72%	28%	0%	0%	0%	0%
		21人	8人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・十分だった。					

問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	79%	17%	3%	0%	0%	0%
		23人	5人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	69%	17%	14%	0%	0%	0%
		20人	5人	4人	0人	0人	0人
《その他意見》		・ハロウィンなどもやってほしい。絵を描くなど簡単なことでもいいので。					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	79%	10%	10%	0%	0%	0%
		23人	3人	3人	0人	0人	0人
《その他意見》							

12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	76%	14%	7%	3%	0%	0%
		22人	4人	2人	1人	0人	0人
《その他意見》							
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	59%	34%	3%	0%	3%	0%
		17人	10人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		・わかからない。					
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	41%	21%	21%	14%	3%	0%
		12人	6人	6人	4人	1人	0人
《その他意見》		・野菜作りや虫のことなど教えてくれて感謝していますが、もっと園外の体験もあると良い。 ・園外活動というのは、今のところないです。					
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	72%	28%	0%	0%	0%	0%
		21人	8人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	72%	21%	3%	0%	3%	0%
		21人	6人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		・どのような健康作りへの取り組みをしているのか知らないです。					

「生活」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	79%	17%	3%	0%	0%	0%
		23人	5人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		・園で作った野菜など、子どもは喜んでいきます。					
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	83%	17%	0%	0%	0%	0%
		24人	5人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・仕方ないのかもしれませんが、食事中はしゃべってはいけないというルールは…。食事は楽しいものであってほしい。					

19	基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	79%	21%	0%	0%	0%	0%
		23人	6人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・歯磨きタイムがほしい。					
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	86%	3%	10%	0%	0%	0%
		25人	1人	3人	0人	0人	0人
《その他意見》		・年中、年長もお昼寝希望。寝ないのかも知れませんが、働くお母さんは夜が遅くなり、子どもは夜までもちません。					

21	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	90%	7%	0%	0%	3%	0%
		26人	2人	0人	0人	1人	0人
《その他意見》		・外れてから入園しました。 ・とてもよく見てくれます。					
22	お子さんの体調への気配りについては	90%	7%	3%	0%	0%	0%
		26人	2人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	87%	7%	7%	0%	0%	0%
		25人	2人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》							

問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	52%	31%	10%	3%	0%	3%
		15人	9人	3人	1人	0人	1人
《その他意見》							
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	72%	24%	3%	0%	0%	0%
		21人	7人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							

26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	41%	34%	17%	7%	0%	0%
		12人	10人	5人	2人	0人	0人
《その他意見》		・利用者だけわかるナンバーロックなど付けたいのではない か。					
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供に ついては	62%	24%	10%	3%	0%	0%
		18人	7人	3人	1人	0人	0人
《その他意見》		・今、何の病気がはやっているなど、情報提供があっても良いか も。					

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの 機会については	55%	34%	3%	3%	3%	0%
		16人	10人	1人	1人	1人	0人
《その他意見》		・個別面談はない。					
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関す る情報提供については	69%	28%	3%	0%	0%	0%
		20人	8人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	79%	17%	0%	3%	0%	0%
		23人	5人	0人	1人	0人	0人
《その他意見》							
31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換 については	83%	7%	7%	3%	0%	0%
		24人	2人	2人	1人	0人	0人
《その他意見》		・あまりないので、してほしい。					
32	お子さんの関する重要な情報の連絡体制につい ては	86%	7%	3%	3%	0%	0%
		25人	2人	1人	1人	0人	0人
《その他意見》							

33	保護者からの相談事への対応には	76%	21%	3%	0%	0%	0%
		22人	6人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》		よく聞いてくださいます。					
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、 残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	79%	21%	0%	0%	0%	0%
		23人	6人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							

問7 職員の対応について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	83%	17%	0%	0%	0%	0%
		24人	5人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・担任以外の先生もよく見てくださいます。					
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて	86%	14%	0%	0%	0%	0%
		25人	4人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの 配慮については	76%	7%	0%	0%	14%	3%
		22人	2人	0人	0人	4人	1人
《その他意見》		・どのような配慮をされているか知らない。 該当する園児がない。					
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	90%	10%	0%	0%	0%	0%
		26人	3人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
39	意見や要望への対応については	83%	17%	0%	0%	0%	0%
		24人	5人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》		・意見は聞いてくださいますが、流れるものも。					

問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	79%	17%	3%	0%	0%
		23人	5人	1人	0人	0人
《その他意見》						

保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

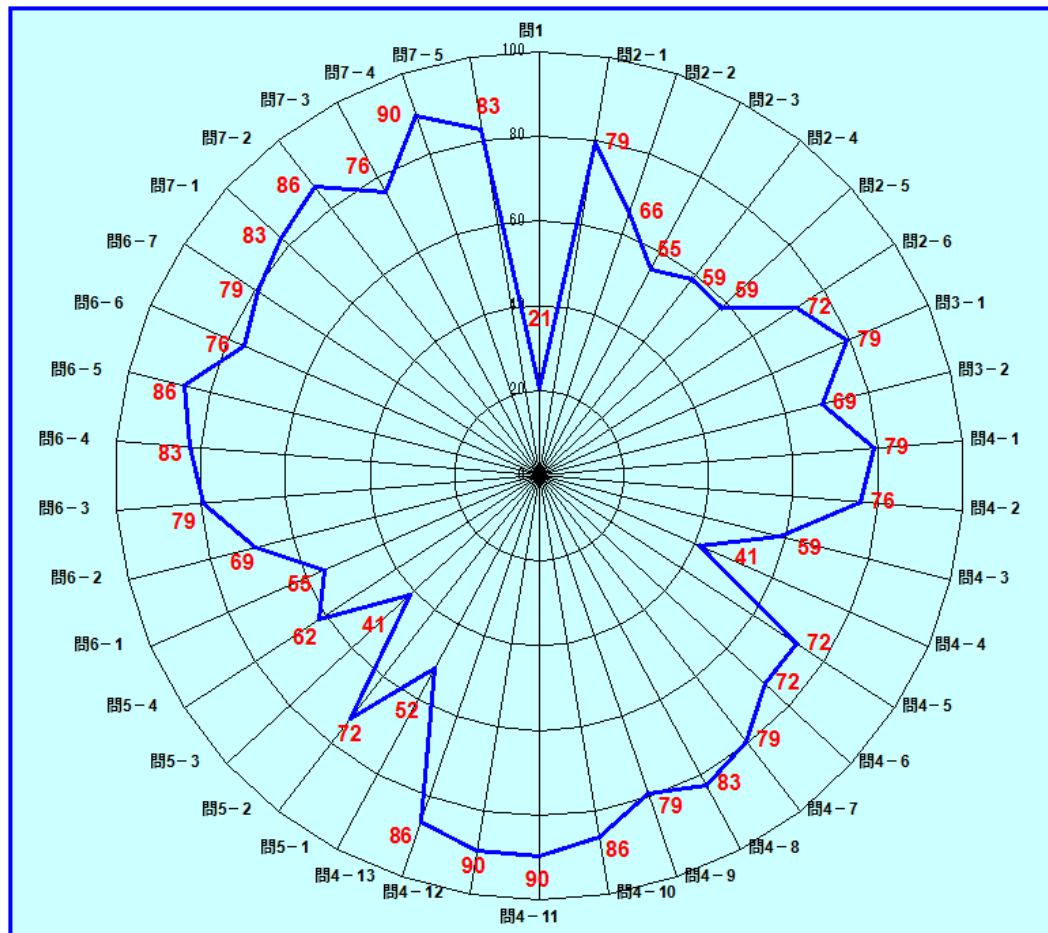
（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎： むつみ愛児園 横浜市西区南軽井沢 56

回答世帯数：31 世帯中 29 世帯 < 2 歳児(6 世帯)、3 歳児(7 世帯)、4 歳児(7 世帯)、5 歳児(8 世帯)、年齢未記入(1 世帯) >

定 員： 50 名

調査期間： 2017/09/29 ~ 2018/01/26



事業者コメント

むつみ保育園

園長 渡辺 志郎

<評価に取り組んだ感想>

初めての第三者評価の実施で、最初は気持ちも重たく戸惑うことばかりでしたが、自己評価の取り組みなど一つ一つ確認することで、細かな認識の違いなどが明確になり、改善に向けて考えることができました。

今後の課題や改善すべき点が明確になり、全職員が力を合わせ「こころも身体も丈夫な子」という保育目標に向けて、これからも努力をしていきたいと思えます。

<評価後取り組んだこととして>

1. 利用者アンケートについては、調査結果を真摯に受け止め、改善すべき点は職員で話し合い、改善に向けていきたいと思えます。
これからも保育の質の向上に向けて、職員一同取り組みをしていきたいと思えます。
2. 職員の担当業務の確認
3. 危機管理および緊急時事故などの確認